

清め祓い・火入れ式

解説 本日のみどころ 佐久間二郎

仕舞 龍田 観世 喜之
甲陽 佐久間二郎

狂言 仏師
シテ(すっぱ) 大藏 教義
アド(田舎者) 大藏 基誠

～休憩二十分～

能 もみじがり 紅葉狩 ～鬼揃～
シテ(女/鬼女) 佐久間二郎
ツレ(女/鬼女) 小島 英明
ツレ(女/鬼女) 桑田 貴志
ツレ(女/鬼女) 中森健之介
ワキ(平維茂) 野口 能弘
ワキツレ(太刀持) 野口 琢弘
アイ(侍女) 上田 圭輔
アイ(末社の神) 大藏 教義

笛 高村 裕
小鼓 烏山 直也
大鼓 佃 良太郎
太鼓 姥浦 理紗
地謡 駒瀬 直也
中森 貫太
中所 宜夫
鈴木 啓吾
筒井 陽子
奥川 恒成
後見 奥川 恒治
遠藤 喜久

午後7時30分頃 終演予定

『仏師』(ぶっし)

持仏堂に安置する仏を求めて、田舎の者(アド)が都にやってくる。腕のいい仏師はいないか手当たり次第に声をかけていると、一人の『すっぱ』(シテ)が現れる。すっぱは、自分こそが仏師であると田舎者を巧みに騙し、仏をつくる契約をすると、翌日、因幡堂にて落ち合おうと約束し別れる。しかし、すっぱは元より楊枝一本削ったことがない。そこで考えたのが、自分が「仏」になりすますということ。翌日、因幡堂で落ち合った田舎者に対し「仏はもう出来上がっている」と告げ、仏になるすっぱ。そうとは知らず、本物の仏像と思い込んだ田舎者であるが、ひょんなことからその異変に気が付き始め……。
騙し騙される両者の、軽妙なやり取りが笑いを誘います。

『紅葉狩』(もみじがり)

戸隠山の山中にて、美しい紅葉を眺めながら酒宴を開く美女たち(シテ・ツレ)。その正体は実は山に住む鬼女であった。折しも美女たちの側を通り掛かった平維茂(ワキ)は、馬を下りてその場を過ぎようとするが、思いがけず美女たちから酒宴の席へ誘われる。女たちは代わがわる維茂に酒をすすめ、美しい舞を舞ってもてなすが、その内に維茂は不覚にも眠ってしまう。その姿を見た美女たちは、維茂に対し「そのまま夢から覚めないように…」と言い残し姿を消す。すると維茂の夢の中に八幡神の使い(アイ)が現れ、「先刻の女は鬼であってお前の命を狙っている。この剣で速やかに退治せよ」と告げを残す。やがて維茂が目覚めると枕元には神剣が置かれており、同時に先ほどの女が鬼となって次々と襲い掛かる。しかし維茂は動揺することもなく、神剣を手にとると、向かってくる鬼女たちを次々に成敗し、ついにはその首を討ち取る。上演度数も高い人気曲で、初心者の方にも分かりやすい能。今回は「鬼揃」の小書(特殊演出)により、登場人物の数も多く、ショー的な要素が含まれた上演形式になります。



観世 喜之
(かんぜ よしゆき)

観世喜之家(矢来能楽堂)、観世九阜会当主。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。平成14年度文化庁芸術祭優秀賞・平成17年日本芸術院賞受賞。武田神社能楽殿「甲陽武能殿」を命名する。



佐久間二郎
(さくま じろう)

甲府市生まれ。3歳で能面に興味を持ち、能楽師を志す。高卒後、観世喜之師に師事。東京・山梨に「謡曲・仕舞」の稽古場を持ち、能楽の普及に努めている。平成29年8月「こうふ開府500年カウントダウンイベント500日前」で武田神社能楽舞台にて祝賀の能を演ずるなど、県内での能楽活動も精力的に行っている。(公社)観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。山梨県立大学非常勤講師。

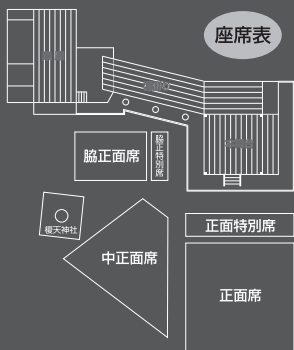
■鑑賞にあたってのお客様へのお願い

○指定された席のみでの鑑賞となり、お席の移動はできません。○許可のないカメラ・スマートフォンなどによる撮影及び画像、動画の配信は全て禁止となります。○携帯電話・スマートフォンは電源をお切り頂くか、マナーモードなどで、着信音が鳴らないように設定をお願い致します。尚、上演中は、会場内での通話が一切禁止となります。○ほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。

「武田の杜薪能」YouTubeチャンネル開設!

こちらの動画チャンネルでは、5月24日開催の「第19回 武田の杜薪能」の演目紹介や見どころ解説、また会場となる武田神社能楽殿(甲陽武能殿)についてのご案内や、薪能鑑賞にあたってのおススメの座席などを紹介してまいります!ぜひ、当日に向けての前情報として、ご覧くださいませ。

<https://www.youtube.com/@takedajinja-takiginoh2025>



《お問い合わせ・お申し込み》 ※雨天決行：雨具は「雨合羽」のみ着用可となります。 ※傘の使用不可
武田の杜薪能実行委員会 TEL 055-252-2609
佐久間二郎 TEL 042-316-4860
メール takedanomori.takigino@gmail.com

《交通のご案内》
◆JR利用の場合 JR(中央線・身延線)甲府駅下車、北口よりバスもしくはタクシー利用で約10分。バスは、山梨交通「武田神社」行又は「積翠寺」行にご乗車下さい。
◆自動車利用の場合 中央自動車道 甲府昭和I.Cより約20分。

駐車場が非常に少ないため、お車は乗り合わせにご協力ください。また、路線バスやタクシーのご利用もお願い申し上げます。

